

第八十一回帝國議會 院 商工經濟會法案外二件委員會會議錄(速記)第二回

付託議案
商工經濟會法案(政府提出、貴族院
送付)(第七六號)
商工組合法案(政府提出、貴族院送
付)(第七七號)
商工組合中央金庫法中改正法律案
(政府提出、貴族院送付)(第七八
號)

昭和十八年二月十六日(火曜日)午後四時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 木村 正義君

理事宇田 耕一君 理事卯尾田毅太郎君

理事小高長三郎君 理事松尾 三藏君

理事前田 善治君

今井 嘉幸君

岡本傳之助君

坂本宗太郎君

高野孫左衛門君

瀧澤 七郎君

船田 中君

星 一君

牧野 良三君

南 鐵太郎君

出席國務大臣左ノ如シ

出席政府委員左ノ如シ

商工省總務局長 神田 暹君

商工省企業局長 豐田 雅孝君

商工書記官 赤間 文三君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

商工經濟會法案(政府提出、貴族院送付)

商工組合法案(政府提出、貴族院送付)

商工組合中央金庫法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

○木村委員長 ソレデハ只今カラ商工經濟會法案外二件ノ委員會ヲ開會致シマス、先

ヅ初メニ商工大臣カラ本三法案ニ對スル御說明ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○岸國務大臣 商工經濟會外二件ノ提案理由ヲ御說明申上ゲマス

商工經濟會法案ハ、曩ニ本會議ニ於テ申述ベマシタ通り、現下決戰體制確立ノ爲メ國民經濟ノ總力ヲ戰力増強ノ目的ニ集中シ、之ヲ最モ有效ニ發揚セシムル爲メ、國內産業經濟組織ノ確立ヲ目的ト致シマシテ、地域の綜合産業經濟團體ノ整備強化ヲ圖リ、全國各道府縣ニ商工經濟會ヲ設立セシメントスルモノデアリマス

産業經濟組織ノ整備確立ニ付キマシテハ、政府ハ曩ニ統制會制度ノ實現ヲ見マシテ、又其ノ下部組織ノ整備モ後ニ御說明申上ゲマスルヤウニ、商工組合法案ニ依リ商工組合ガ設ケラレルノデアリマスガ、是等ハソレゾレ業種別ニ生産配給消費ヲ縱ニ貫ク謂ハバ縱斷的ノ産業統制機構デアリマシテ、此ノ縱斷的ノ統制機構ニ依リ統制運轉ヲ眞ニ圓滑ナラシメル爲ニハ、同時ニ是等ノ機構ノ連絡ヲ圖ルベキ謂ハバ橫斷的ノ機構ヲ整ヘネバナラスノデアリマス、現在道府縣ノ産業經濟統制ハ總テ地方官廳ヲ通ジテ行ハレテ居リマシテ、之ニ協力セシムル爲ニ速カニ地域の、綜合的ナル組織ヲ必要トスルノデアリマス、現在綜合的、地域の産業團體トシマシテハ、御承知ノ通り商工會議所法ニ依リ商工會議所ガアルノミデゴザ

イマスガ、商工會議所法ハ昭和二年ニ制定セラレタモノデアリマシテ、其ノ後ニ於キマスル經濟諸情勢ノ變化ニ依リ、其ノ運轉ハ今日ノ事情ニ即應シ難キモノガ多ク、之ヲ以テシテハ十分ニ現下ノ要請ニ應フルコトハ困難ト相成ツテ參ツタノデアリマス、此ノ故ニ商工會議所制度ヲ廢止シ、新タニ商工經濟會制度ヲ設ケントスルノデアリマス

以下少シク商工會議所ト商工經濟會トヲ比較致シマシテ本法提案ノ理由ヲ明カニ致シタイト存ジマス

從來ノ商工會議所ハ單ニ商工業ノ改善發達ヲ圖ルコトヲ其ノ目的ト致シテ居ルノデアリマスルガ、商工經濟會ハ地域の綜合産業經濟團體トシテ、地方産業經濟ニ關スル行政ニ對スル協力ヲ其ノ主眼ト致シテ居リマス、第一ニ商工經濟會ハ産業行政ノ協力機關デアリマスノデ、行政區劃ニ依リマシテ道府縣ヲ其ノ區域トシ、從來ノ商工會議所ガ市又ハ町ノ範圍ヲ區域トシテ居リマシタノニ對比致シマシテ其ノ地區ハ擴大セラレノデアリマス

此ノ爲メ商工經濟會ニ於キマシテハ各種産業ヲ營ム者ノ中カラ構成員タル資格ヲ有スル者ヲ行政官廳ニ於テ指定シ、其ノ指定ヲ受ケタル者ハ當然加入スルモノトスルノデアリマシテ、比較的大ナル事業者ハ單獨ニテ、然ラザル者ハ組合等ニ依リマシテ團體加入セシムルコトト致シマシテ、廣ク凡ユル業種業態ニ屬スル者ヲ其ノ構成員トシテ包含シ、眞ニ綜合的經濟ノ圓滑ナル運轉ニ資セシメント思フノデアリマス

次ニ商工經濟會ハ地方産業行政ノ協力機關トシテ地方的組織ノ整備ヲ目的ト致シテ居リマスノデ、主務大臣ノ命令ニ依リ之ヲ設立セシメマシテ、全國ニ商工經濟會ヲ設立スルコトト致シタイト存ジマス、此ノ點從來ノ商工會議所ガ一定ノ資格者ノ發意ニ依リマシテ、所謂任意設立ニ任セテ居リマシタノニ比シマシテ、大ナル運庭ガアルノデアリマス

次ニ商工會議所ノ事業ハ單ニ商工業ノ改善發達ヲ圖ルコトヲ主ト致シテ居リマシタ爲ニ、其ノ役員等ノ任免ハ當事者ノ意思ニ任サレテ居リマシタガ、商工經濟會ノ事業ハ總テ行政官廳ト表裏一體ノ關係ニ於テ地方産業經濟ニ關スル行政ニ協力セシメルコトヲ主ト致シ、其ノ公共性ハ非常ニ強クナリ、事業範圍ハ擴大シテ居リマスノデ、眞ニ有能ノ士ヲ其ノ役員ニスル方途ヲ講ジ、且ツ行政官廳ノ任命又ハ承認制度ヲ採ツタ

ノデアリマス

最後ニ商工經濟會法ニハ支部ヲ設クル規定ヲ設ケテ居リマスガ、是ハ商工經濟會ノ事業ヲ圓滑ニ遂行致シマスル爲ニ必要ナル地ニ強力ナル支部ヲ設ケ、下部組織ノ整備ヲ圖ラントスル趣旨デゴザイマス

次ニ商工組合法案ニ付テ御説明致シマス、決戦下ニ於キマスル商工鑛業ノ總力ヲ結集シ、其ノ能率ヲ最高度ニ發揮セシメマスルコトヲ目途ト致シマシテ、其ノ統制運營ヲ圖ル組織機構ヲ整備確立セントスルモノデアリマス、而シテ本法ニ依リマシテ設立セラレマスル團體ハ、統制組合及ビ施設組合ノ商工組合並ニ商工組合中央會デアリマス、第一ノ統制組合ハ商工鑛業部門ニ於ケル統制團體デアリマス、政府ハ曩ニ公布セラレマシタ重要産業團體令ニ基キマシテ、重要産業部門ニ於ケル統制團體トシテ統制會ノ設立ヲ促進シ、既ニ其ノ數ハ二十有餘ニ上ツテ居リマシテ、重要産業部門ノ上部統制機構ハ略、是ガ整備ヲ了シタル狀況デアリマス、然ルニ重要産業以外ノ一般商工業部門ニ於キマシテハ、商業組合、工業組合、同業組合等ガアルノデアリマスルガ、是等ノ諸組合制度ハ今日ノ戰時下ニ於ケル統制經濟以前ニ創設セラレマシタモノデアアル關係上、今日ノ統制經濟下ニ於ケル統制組織ト致シマシテハ、幾多ノ缺陷ヲ有シテ居ルノデアリマス、即チ其ノ運營ノ方法ガ總會ヲ中心トスル所謂合議制ニ依ルモノデアリマスル爲メ、國家ノ意思ヲ敏速且ツ的確ニ滲透サセル統制組織トシテハ缺クル所ガアル、且ツ組合員ノ加入脱退ガ自由ナルコト、其ノ他統制ヲ確保スル爲メノ法的根據ガ薄弱ナルコト等ノ事由ニ依リマシテ、強力ナル統

制ヲ行フ統制團體タルニ缺クル所ガアルノデアリマス、又組合組織ニ依ル統制團體トシテハ右ノ諸組合ノ外ニ統制會ノ下部組織ト致シテ重要産業團體令ニ依ル統制組合ガアリマスルガ、此ノ統制組合ハ其ノ事業ガ狹義ノ統制事業ニ限ラレテ居リマスル結果、一般中小企業ノ統制ニ適合セザル所ガアリマスノデ、統制確保上必要ナル經濟事業ヲ合併セ行ヒ得マスルヤウニ、之ヲ強化擴充スルノ必要ガアルノデアリマス、更ニ現行商業組合、工業組合ノ制度ハ商工分立ノ原則ニ立ツテ居リマスル爲メ、問屋業者ト賃加工業者トノ如ク密接ナル關係ヲ有スル商工業者ガ別個ノ商業組合又ハ工業組合ニ加入セネバナラナクナリマスル結果、商工業者相互ノ間ニ對立摩擦ヲ惹起セシメル虞モアリマスルノデ、必要ニ應ジマシテハ、商工一體ノ組合ヲモ設立シ得ル途ヲ開クノガ適當デアルト考ヘラレルノデアリマス、是ニ於キマシテ、現行ノ統制組合、工業組合、商業組合、同業組合ノ各種組合制度ノ長ヲ採リ短ヲ補ツテ、新シイ統制組合制度ヲ創設致シタイト存スルノデアリマス

第二ノ施設組合ハ中小企業ノ共同經營ノ組織デアリマス、現下ノ物資供給狀況ノ下ニ於キマシテ、生産ノ増強及ビ配給ノ適正ヲ期シマスル爲メ、低能率ノ企業ヲ整理統合シテ、産業能率ノ増強ヲ期シツツアル次第デアリマスガ、一面又中小企業經營ニ伴フ利點モ、之ヲ活用シナケレバナラヌ場合モアリマスルノデ、是等中小企業ヲ結合シテ、共同經營ヲ行ハシメ、以テ中小經營ノ長ヲ採リ短ヲ補フ所ノ組合組織モ必要ト存スルノデアリマス、現在ニ於キマシテモ、商業小組合、工業小組合ノ如キ弱小業者ノ

爲メノ組合組織ガ存スルノデアリマスルガ、其ノ組合員數、設立者ノ資格等ガ制限セラレテ居リマスル結果不便ガアリマスノデ、本法ニ依リマシテ任意加入制ノ純然タル協同組合トシテ施設組合ナル制度ヲ設クルコトト致シタイト存スルノデアリマス、第三ノ商工組合中央會ハ、本法ニ依ル統制組合及ビ施設組合ノ指導連絡ヲ圖ル中央機關デアリマシテ、其ノ事業ハ商工組合ノ經營、實務ノ指導、其ノ他中小企業ニ關スル調査研究等ニ限リマシテ、所謂統制ニハ關與シナイ建前デアリマス

以上ノ如ク本法ハ既存ノ諸組合制度ヲ整理統合シテ商工鑛業ニ關スル簡素ニシテ且ツ強力ナル統制組織ヲ整備確立セントスルモノデアリマスルガ、本法ニ依リ既存組合ガ新組合ニ改組セラルルニ當リマシテハ、成ベク簡易ナル方法ニ依リ得マスルヤウ、諸種ノ規定ヲ設ケマス共ニ、將來ノ運用ニ當リマシテモ業界ニ無用ノ混亂ヲ生ゼシメナイヤウニ特ニ留意致シテ居ル次第デアリマス

最後ニ商工組合中央金庫法中改正法律案ニ付テ御説明致シマス、商工組合中央金庫ハ商業組合、工業組合等、商工業關係組合ニ對スル金融ノ圓滑ヲ圖ルコトヲ目的トシテ設立セラレタノデアリマスルガ、設立後商業組合、工業組合等ノ飛躍的増加ト相俟ツテ、其ノ業務モ急速ニ擴充サレテ參ツタノデアリマス、即チ設立當初ニ於キマシテハ所屬組合數千六百餘、貸出殘高三百萬圓餘ヲ算フルニ過ギナカツタノデアリマスルガ、昨年末ニ於キマシテハ所屬組合數ニ於テ約七千、貸出殘高ニ於テ一億圓ヲ突破スルニ至ツタノデアリマス、而シテ是等組合カラ

ノ旺盛ナル資金需要ニ對應致シマスル爲メハ、商工組合中央金庫ノ資力ヲ積極的ニ充實セシムル必要ガアルノデアリマスルガ、差當リ組合數ノ激増ニ鑑ミマシテ、設立當初ノ資本金千萬圓ヲ組合側ノミノ出資ニ依ツテ六百萬圓増加致シマス共ニ、臨時資金調整法ノ改正ニ依ツテ商工債券ノ發行限度ヲ五千萬圓擴張スル等、必要ナル措置ヲ講ジテ參ツタノデアリマス、併シナガラ本金庫ノ主要ナル貸出財源ヲナス商工債券ニ付キマシテモ、既ニ昨年末ニ於テ其ノ發行高ハ約一億一千万圓ニ達シ、約三千万圓餘ノ發行餘力ヲ殘スニ過ギナイ狀態トナリマシタニモ拘ラズ、組合ノ總數ハ増加ノ一途ヲ辿リツツアリマス共ニ、今回本法ノ改正ニ依リマシテ從來ノ組合ヲ改組設立シタル會社、其ノ他統制ノ必要上設立シタル會社等ニ對シマシテモ、資金ノ融通ヲ行フコトトナリマスルノデ、將來本金庫ノ所要資金ハ急激ニ増加スルモノト豫想セラルルノデアリマス、隨ヒマシテ商工組合中央金庫ノ現在ノ資本金千六百萬圓ヲ以テ致シマシテハ到底利用者ノ需要ニ應ズルコトハ困難ト認メラレマスルノデ、商工組合中央金庫ノ資本金ヲ千四百萬圓増加シテ、政府ヨリ千萬元ヲ出資スルト共ニ組合ヨリ四百萬元ヲ出資セシメントスル次第デアリマス

次ニ商業組合中央金庫ハ現在商工業關係組合ニ對シテノ資金ヲ貸付ケ得ル建前ニナツテ居ルノデアリマスルガ、近時産業再編成ノ要請ニ基キマシテ、商工業關係組合中ニ於キマシテモ、組合ヲ改組シテ有限會社或ハ食糧營團等ノ別個ノ形態ニ移行スルモノガ少カラザル狀況デアリマス、隨ヒマシテ從來商工組合中央金庫ニ所屬シテ

居ツタ商工業關係組合ニシテ改組ニ依リ加入者タル資格ヲ喪失シタルモノニ對シマシテモ貸付ノ繼續ヲ認メマスト共ニ、商工組合中央金庫ニ所屬セザル組合、又ハ聯合會ヲ改組設立シタル會社、其ノ他設立ノ趣旨、組織者等カラ見テ之ニ準ズベキ會社ニ對シマシテモ餘裕金運用ニ依ル短期ノ貸付ヲ認メントスルモノデアリマス、尙ホ商工組合中央金庫ノ事業年度ハ、現在年二回トナツテ居リマスルガ、手續ノ簡素化、經費ノ節約ヲ圖ル趣旨ヨリ致シマシテ、之ヲ年一回ニ併セテ改正セントスルモノデアリマス、商工經濟會法案外二件ノ提案理由ハ大體以上ノ通りデアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アランコトヲ希望致ス次第デアリマス

○木村委員長 本日ハ大臣ハ五時カラ閣議ヲ御差支ヘガアルト云フコトデアリマスカラ、質問ハ次回カラ致シタイト思ヒマス、其ノ前ニ私カラ御諮リ致シテ置キタイコトハ、審議ノ方法デアリマスガ、審議ノ方法ト致シマシテハ、先ヅ商工經濟會法案外二件、本委員會ニ付託サレマシタ此ノ三法案ニ直接關係ノアル質疑ヲ先ヅ行ツテ、サウシテ是ガ一通リ済ミマシタ後ニ一般商工行政ニ關スル御質疑ヲ願フヤウニ致シタイト思ヒマス、ソレカラ次ニ、三法案ニ付キマシテハ、大體今大臣ノ御説明ノアリマシタ商工經濟會法案、其ノ次ニ商工組合法案、次ニ商工組合中央金庫法中改正法律案、斯ウ云フ順序デ大體進メタイト思ヒマス、併シ關聯スルコトガアリマスレバ勿論一緒ニ御尋ネ戴クコトトナルト思ヒマスケレドモ、大體ノ順序ハサウ云フ順序デ進行致シタイト思ヒマス、ソレカラ資料ノ提出デアリマスガ、此ノ前ノ時ニ資料ヲ要求致シテ置キマシテ、

本日茲ニ相當御提出ニナリマシタガ、マダ先般要求致シマシタ例ヘバ統制經濟違反ニ關スル調ベナドモ要求シテアリマスケレドモ、マダ本日ハ出デ居リマセヌガ、其ノ外ニ若シ御要求ガアリマシタナラバ成ベク早ク御要求ヲ願ツタラバ如何カト存ジマス、ソレハ本日デモ若シ御準備ガアリマスルナラバ御申出ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ次ニ質問ヲナサル方デアリマスガ、只今マデ私ノ所ニ申出ノ方ハ、船田君、星島君、坂本宗太郎君、瀧澤七郎君、南鐵太郎君等ノ方々カラ申出ガアツテ居リマスガ、私ナリ理事ノ方ニ御質疑ノアル方ハ御申出ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレデハ本日ハ是ヲ以テ散會致シマス

午後四時五十分散會

〔參照〕

岡本(傳)委員要求ノ參考資料

今回企業再編成ニ依リ整理セラルル中小商工業者ノ

一、整理前ノ業者數、從業員數、家族數

(見込)

二、整理後ノ業者數、從業員數、家族數

(見込)

(以上業種別ニ表示スルコト)

昭和十八年二月十八日印刷

昭和十八年二月十九日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局